



議会も押した政策2題 ～目線は子ども達へ～

／議会も注視してきた児童・生徒に向けた2つの事業が形になりました。／

熱い思いで涼しさ実現

文命中学校体育館に空調設備設置へ

文命中学校体育館の空調設備設置の試験運用が8月29日の始業式から始まりました。

議会としても都度取り上げ、教育施設としてだけでなく、被災時の避難所でもあることから、早期の設置を求め意見書を一昨年初に町に提出し、町民の要望の強さを訴え続けました。

町も近隣自治体が手掛けていない事業に意欲的に取り組み、この日の稼働開始となりました。断熱工事などは今後も続きますが、酷暑を考え早期の稼働です。

部活動中の生徒からは『思っていた以上に涼しい』との声がありました。空調の風による卓球への影響もなく、操作は職員室で一括操作が可能であることなど、学校側にとっても使い勝手のいい設備であると歓迎されています。



平成31年 2月：随時会議にて関連の質問

令和5年 10月：議会から町へ、文命中学校体育館への空調設備の設置に関する次年度予算に対する意見書を提出

令和6年 3月：空調設備設計費予算化

令和7年 5月：請負工事費予算化／着工

9月：試験運用開始

町民センターに学習スペース

文命中学校体育館の空調と同時に試験運用が開始されたのが町民センター内の学習室です。議場での学習は夏季に限られるため、通年利用のできる学習スペースの設置に向けて、議会も取り組んできました。

前期の教育民生常任委員会では所管事務調査項目として取り上げ、担当課とも意見交換を行い、改修後の町民センターを視察して、委員会としての提言を行う等してきました。今後の利用率にも注目していきます。



シリーズ：委員会報告 1

教育民生常任委員会

沼津市へ



沼津っ子ふれあいセンター
(ぽっぽ)

来年度から全国的に始まる「こども誰でも通園制度」について調査中の当委員会は、先行実施自治体である沼津市の施設を視察しました。(7月29日)

この制度は、保護者の就労の有無や理由を問わず、0歳から2歳の子が月一定時間まで保育施設を利用できる、国が新たに設けた制度です。

視察先の「沼津っ子ふれあいセンター(ぽっぽ)」は、子育て支援センターと、0歳児から受け入れ可能の一時保育所が組み合わさった既存の公共施設です。新制度の実施にあたり、なり手不足が叫ばれる保育士確保策、運営方法や体制について、詳細を伺いました。

全国から集う

議会広報研修

全国町村議会議長会主催による、約600名もの議員が参加する大規模な研修に参加しました。(8月28日)

福岡県大刀洗町の議会広報委員長、日本広報協会の映像講師らから、議会広報を通じ、いかに住民の議会への関心を高めるかということや、インターネットを通じた広報活動、効果的な記事設計について等を学びました。

開成町議会の広報委員たちも、日々、皆さまが手に取りやすい、理解しやすい広報づくりに励んでいます。効果の程はいかがでしょうか？



委員長・副委員長・ 事務局長 研修

神奈川県町村議会議長会の主催による研修「議会改革のための委員会活動」(講師は東京大学大学院法学政治学研究科教授 金井利之氏)に参加しました。(8月8日)

複数の議員が共同で調査・勉強する常任委員会の意義や機能について確認し、いかに課題認識を持つかなどの実践的な手段について学びました。

令和6年度決算

各議員

それぞれの
視点は

山本研一
議長



節目の決算と水道経営

武井正広

令和6年度は、第五次開成町総合計画最終年度でもあり、町政運営の重要な節目であった。町長からは、この12年間を含め着実なまちづくりを評価し、ここまで継続性を持って進められてきたことはありがたく、第六次開成町総合計画でさらに勢いをつけたいとの答弁があった。全体として健全財政であったが、水道企業会計では、全国的に見ても安価で水を供給している一方、給水人口の減少や節水機器普及による収入減、維持管理コスト増加などにより経常収支比率が100%を超過し続けており、今後は安定運営のため料金改定が課題となっている。

新たな取り組みの結果・・・ 防災関連では

前田せつよ

問 通学路等のブロック塀耐震診断調査を1212件実施した結果と今後の対応策は。
答 安全基準A判定からD判定の危険のうち、124件がD判定であった。10日に学校地域安全推進委員会があるので、校区別の危険箇所合同点検を実施する。
問 消防団員を対象とした「小型車両系建設機械運転の講習・危険物取扱いなど」資格取得制度を創設したが成果はいかに。
答 令和6年度は消防団員7名ほど「応急手当普及員」資格取得を予定していたが台風の影響で講習が中止になった。
問 今後も、消防団幹部会議等を通じて「防災士」など柔軟に選定していきたいと思う。

本当に困っている人たちに 寄りそっていたか

清水友紀

本当に困っている人への策が十分だったのかどうかという視点で、事業の数字や成果を確認した。
障がいを持つ大人や子どものための福祉サービス、低所得層の家庭、不登校や外国籍の子どもへの支援のための予算はしっかり執行されたのか、これまでに質問・提案したことがどう反映されているかを含めてチェック。
コロナワクチンの健康被害の有無、バス・タクシー移動支援、土地所有者との関係性が大事な農地の保全や駅前の整理事業についても、国の動きと交付金額とともに注視した。

注目！ 健全な財政運営がされているか。

吉岡敏郎

令和6年度決算は、一般会計における主要な財政運営指標では、引き続き健全な財政状況が維持されており、将来を見据えた大規模事業も停滞させることなく執行できた。
歳入では、財産収入が、前年比1千1百万円増、自主財源を増やすことは重要、今後も自主財源確保に努めていただきたい。
ふるさと納税関係費が昨年度より減少している、要因を検証し、今後の取り組みと対応策を。
今回の決算の結果をどのようにとらえているのか、また、各事業の決算結果を踏まえ検証していただき、来年度の予算編成に向かっていただきたい。

決算で見る！ 開成町の子育て支援と教育

今西景子

子育て支援と教育は、開成町の未来への最大の投資！
使われた金額で子育てと教育に対する町の思い入れや支援の姿勢を確認した。また、当事者である子育て世代の声を反映できているのか効果を検証し、来年度の予算編成に繋がる改善点がないかすみずみまで注視。
子育て支援に関しては不妊治療から妊娠時、産後ケア、保育や幼稚園教育、子育て相談、一時保育、病児保育、子育て中の親子の居場所など、全ての項目を町民目線でチェックした。教育に関しては、保護者の視点はもちろん、児童・生徒目線でも教育環境、心のケアなどの整備を検証した。

効率的な自治体経営～職員研修と財政運営～

寺野圭一郎

問 職員研修の効果や評価基準は。
答 接遇力診断やOJTなどを通じて評価。基準は委託業者による80点以上が合格。職員の希望研修もアンケートで吸い上げ、予算に反映している。
問 不要物品の売却の現状、今後の見込みは。
答 廃舎は年1回の廃棄時に売却可能品を確認。教育委員会とも連携し、取り組みを進めている。
問 中小企業支援制度の周知は。
答 ホームページでPR済。商工会との連携やSNSでの発信も今後検討していく。
問 企業債借入の必要性は。
答 安定的な事業運営のため、余剰金があっても借入を実施。収支バランスを考慮している。

各事業の予算執行率に注目！！

石岡史行

決算審議にあたっては、各事業の予算執行率（不用額の多寡）に注目した。特にゼロカーボンシティ創成補助制度（ZEH 住宅、既存住宅への太陽光発電設置、電気自動車購入補助等）の執行率の低さ（不用額が約6,000万円と多い）が気になった。2050年までのゼロカーボンシティを表明している本町として、国の補助金を活用しながら町として力を入れている制度でありながら、実際の補助件数の実績が目標に届いていないのが現状である。令和8年度まで国の補助が続く以上は、町民への制度の周知を図るなど補助件数を上げる一層の努力を町側に期待したい。

黒字の先を問う！ 次代につなぐ決算審議！

井上慎司

令和6年度決算は歳入歳出差引5.7億円、実質収支4.7億円の黒字。だが収収は法人依存度が高く、黒字の持続性が問われる。
不用額4.8億円は複数要因による増で、効率化が事業停止かの分析が必要。公債残高71.3億円に対し基金14.2億円を維持も取崩し実施。中長期的な財政運営と安定財源確保が焦点。
税務窓口課は収収率95.43%、不納欠損減少など成果を示すが、今後のリスク管理とICT活用が課題。

決算が示す開成町の価値とは！

山下純夫

歳入では、固定資産税のうち土地にかかる部分が増加している。資産価値が上がることは本町の人気と自治体としての価値の高まりであり、それは政策への評価とも受け取れる。
一方で、法人税の大幅アップは政府が法人税減税の意向ということもあり、喜ばしいことばかりではない。
歳出では5.6%近い不用額（予算化されたものの実際には使われなかった金額）は明らかに高すぎで、説明を求めたところ問題ないことが確認できた。
決算議会にあたっては、より一層現状を的確に説明しうる資料の提示を求めたい。

予算執行の適正化・ 安全確保事業の評価

星野洋一

令和6年度決算全体については、監査委員の一般会計及び特別会計決算審査意見書でも指摘されているように、一般会計歳出の不用額（予算として計上されていたものの、実際には支出されずに残った金額）が散見され、例えば事業費1億2千万円の半額が不用額となった事例もあった。今後は予算編成・執行の一層の適正化が望まれる。
一方で、通学路等ブロック塀調査業務は、児童・生徒や町民の安全確保を目的とし、大規模地震時の被害軽減につながる取組として高く評価できる。



忙しい
あなたへ

ほぼ10分でわかる

議会審議結果ハイライト

令和7年開成町議会7月随時会議議案審議結果

議決日	提出者	議案名 ※本会議の様子は右QRコードよりご覧ください。	審議 結果	内容	7月 随時会議
7月16日	町長	令和7年度開成町一般会計補正予算（第3号）について	可決	補正予算250,045千円を追加し、歳入歳出総額を85億8,046万3千円とする。	

令和7年開成町議会9月定例会議・審議結果

議決日	提出者	議案名 ※本会議の様子は各QRコードよりご覧ください。	審議 結果	内容
9月5日	町長	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	委員のうち一人が任期満了となるため、引き続き秋谷 勉氏を再任
		開成町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、部分休業制度の拡充に係る規定を整備するため改正を行う。
		開成町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い規定を整備
議決日	提出者	議案名 ※本会議の様子は各QRコードよりご覧ください。	審議 結果	内容
9月11日	町長	決算認定について（一般会計）	認定	歳入決算 84億9,629万6,675円 歳出決算 79億1,914万1,019円
		決算認定について（国民健康保険特別会計）	認定	歳入決算 14億7,221万2,742円 歳出決算 14億4,719万6,731円
		決算認定について（介護保険事業特別会計）	認定	歳入決算 15億3,279万8,601円 歳出決算 14億6,132万1,815円
		決算認定について（給食事業特別会計）	認定	歳入決算 1億1,461万5,010円 歳出決算 1億1,327万2,110円
		決算認定について（後期高齢者医療事業特別会計）	認定	歳入決算 3億3,169万7,631円 歳出決算 3億707万8,467円
		決算認定について（駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計）	認定	歳入決算 9億5,783万3,203円 歳出決算 8億3,685万6,964円
		決算認定について（水道事業会計）	認定	歳入決算 3億2,924万4,620円 歳出決算 4億4,847万2,702円
		令和6年度開成町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	当年度末残高1億541万5,542円を建設改良に541万5,542円を積立て、1億円を翌年度繰越利益剰余金とする。
		決算認定について（下水道事業会計）	認定	歳入決算 7億7,628万5,910円 歳出決算 8億6,456万5,608円
		令和7年度開成町一般会計補正予算（第4号）	可決	補正予算99,285千円を追加し、歳入歳出総額を8,679,748千円とする。

～決算は正確であり、 健全な財政運営がなされている～



代表監査委員 榎村雄一
議員選出監査委員 佐々木昇

令和6年度一般会計、特別会計、企業会計の歳入歳出決算及び基金の運用状況並びに財政の健全化について、延べ6日間にわたり審査した結果を監査委員の意見として町議会に報告をしました。意見の概要は次のとおりです。

1. 歳入歳出決算の意見

令和6年度開成町一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算及び企業会計決算の計数は正確であると認められる。
歳入から歳出を差し引いた額は一般会計で5億7千715万6千円、実質収支額は4億7千830万7千円である。なお、実質単年度収支額は、3億4千62万9千円の黒字となった。

なお、各特別会計の実質収支額についても、良好な財政状況にある。企業会計も事業の経営状況及び財政状況を適正に表示している。

2. 基金の運用状況

18基金の管理・運用は適切で、基金の現在高は収支の金額と一致している。

3. 財政の健全性

令和6年度一般会計、特別会計、企業会計の決算に基づく財政の健全化比率及び資金不足比率は、関係法等の規定に基づき算定され、適正に作成されていると認められる。

- （1）実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率は、いずれも財政赤字がない。また、健全化基準に比して良好な比率である。
- （2）企業会計における資金不足比率は、健全化基準に比して問題ない比率である。

※決算審査報告録画は、こちらからご覧いただけます。→



令和7年開成町議会9月定例会議・審議結果

議決日	提出者	議案名 ※本会議の様子は2面QRコードよりご覧ください。	審議 結果	内容
9月11日	町長	令和7年度開成町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	補正予算16,045千円を追加し、歳入歳出総額を1,577,599千円とする。
		令和7年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	補正予算71,475千円を追加し、歳入歳出総額を1,672,455千円とする。
		令和7年度開成町給食事業特別会計補正予算（第1号）	可決	補正予算5,897千円を追加し、歳入歳出総額を125,990千円とする。
		令和7年度開成町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	可決	補正予算25,643千円を追加し、歳入歳出総額を362,205千円とする。
		令和7年度開成町駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	補正予算31,857千円を減額し、歳入歳出総額を740,787千円とする。

令和7年9月 定例会議 一般質問

協働・財政・広域連携

山下 純夫

本町のDXの進捗と
今後の展望を問う



- 問 現状の中間標準レイアウト使用への移行割合は。
- 答 今年度内に移行を完了する予定であり、標準化への移行が令和8年度以降にずれ込むものはない。
- 問 DXを担う高度専門人材の登用について現状は。
- 答 幸いデジタル専務職の応募があり、10月からの採用が可能になり、デジタル分野の強化を図れると我々も期待している。
- 問 オープンデータは機械判読可能な形式か、またその時期は。
- 答 形式は検討中。時期は早急に対応したい。

協働・財政・広域連携

佐々木 昇

窓口業務のデジタル
化の進捗を問う



- 問 災害時のデジタル化に取り組むべきだと考えるが。
- 答 今後、必要なものかというようなものを含めて、広域や町内というところでの必要性というものは調査研究ができたかと考えている。
- 問 税務DXを積極的に進めるべきと考える。今後の取り組みは。
- 答 具体的に想定しているものはないが、必要なものであれば取り入れていくというようなところは内部で調整をしていきたい。
- 問 公開型GIS導入について、令和6年度に検討したと聞くが。
- 答 現状として、いつから導入するというところまで至っていない。

健康・福祉／都市形成・住環境

井上 慎司

1. マイナ保険証保有者への
資格確認書の交付について問う
2. 町中北部から開成駅までの歩行者・
自転車の交通安全対策について問う



- 問 本町のマイナ保険証と資格確認書の制度の運用状況と今後の対応は。
- 答 国の運用に則した運用をしている。要配慮者であれば申請により資格確認書を交付できる。デジタル技術の利用能力の差が課題であり、より一層丁寧な説明に努めることによって対応していく。
- 問 町の中北部から開成駅までの徒歩・自転車によるネットワーク整備について、一つの計画として構築する考えは。
- 答 現在、都市計画マスタープランの改定作業を行っている。それらの機会を利用してできる範囲で方向性や意思表示をしてみたい。

都市形成・住環境

前田 せつよ

町営住宅の維持管理
及び方針を問う



- 問 町営住宅は11戸の空きがあるにも関わらず、どうして入居申し込みの受付が止まったままなのか。いつまで待てばいいのか。
- 答 今年度中には募集の再開に関する方針を含め、より具体的な方向性について結論を出すように取り組んでいく。
- 問 今年度中に決めていくのであれば、状況説明の発信をするべき。特に入居者は元より、近隣住民には検討状況の情報発信を行うべき。
- 答 承知しました。検討はゼロからしている訳ではなく、歴史的経緯も踏まえて新たな課題、老朽化なども含めた検討を行っていききたい。

子育て・教育

武井 正広

子育て支援・子育て環境の
さらなる充実策について問う



- 問 子育て世帯の負担軽減、安心して子どもを育てられる環境を整えるため、保育料の多子世帯支援で第2子無償化すべきではないか。
- 答 少子化対策、人口増、移住定住促進策という目的において、何が一番効果があるのか、限られた財源で何を打つべきかは常に検討している。保育料の無償化も勿論選択肢の一つである。生まれた方が3人4人と産んで頂くということが、少子化対策という意味では非常に注目すべき点でありとても大事だと思っている。今後も何かしらの策を打っていくので、それが第2子無償化なのかは色々協議していく。

生涯学習・共生

清水 友紀

伝統と文化の価値を高め、
継承されるまちづくりを



- 問 指定文化財の数は大井町と松田町18点、山北町13点等で、開成町は2点と極めて少ない。未指定文化財の調査など今後の取り組みは。
- 答 少ない理由は洪水で流されたため。文化財保護委員とともに検討する。
- 問 町として町民の関心を高める努力が足りなかったのでは。
- 答 今年度は文化展で文化財保護委員会の展示を行うなど情報発信に努める。
- 問 地方創生につながるよう、歴史や文化をまちづくりに活かす考えは。
- 答 古きを訪ねて新しきを知る温故知新の考えは重要で、やらなければならないことはある。環境景観等についても協議し行動していきたい。

開成町議会インターンシップ (就業体験)を実施！

開成町議会では、学生・生徒の皆さんに対して、議会本会議や議会運営委員会、その他の委員会に関する業務を体験していただくインターンシップを実施しています。

これは、議会事務局が担う業務に携わることで、就業意識の向上と議会・町政への理解を深めることを目的としています。

●実施期間と参加者

令和7年7月28日～8月1日の5日間、高校生1名が参加しました。

●各日の活動内容

- ・1日目：ガイダンス、議場・庁舎見学
- ・2日目：教育民生常任委員会の視察に同行（沼津市「こども誰でも通園制度」）
- ・3日目：都市整備課での就業体験、大分県佐伯市議会の視察受け入れ傍聴
- ・4日目：議会運営委員会の傍聴、委員会動画の作成
- ・5日目：議会に関するレポート発表、議員との意見交換、議長から修了証授与
また、若手町職員とのランチミーティングも行われ、交流を深めました。

●レポート発表の内容

参加者からは、「ギカイだより」の改善提案や、動画のアクセス件数向上策など、具体的なアイデアが発表されました。

●今後の実施予定

開成町議会インターンシップは、令和8年3月まで継続して実施されます。

詳細は、開成町議会WEBサイトをご覧ください。



～経験しないと
わからない～



最終日に議長から
「修了証」が授与されました

今年も 夏休み議場開放を 実施しました！

自習室として活用いただき、利用者は延べ135人でした。

利用者アンケートからは、満足度が高く、連日利用する中高生は、毎回、同じ座席を希望され、議場を居場所として利用されていました。

議場の一般開放は議会（議場）への親しみやすさにつながっていると考えています。



「ギカイだより」のご愛読
ありがとうございます。
紙面の更なる充実のため
に、アンケートへのご協力
をお願いいたします。

アンケートは
こちらから ➡



植物インクと再生紙を
使用しています。

発行：開成町議会
編集：広報広聴常任委員会（広報分科会）

【議会事務局】電話：0465(84)0323 FAX：0465(20)5272
メールアドレス：gikaijimu@town.kaisei.kanagawa.jp